



松 明

(令和5年11月発行・隔月発行) 2023 vol.6



P2 親子遠足より

第77回国立病院総合医学学会に参加して

リハビリテーション科 作業療法士 森谷 恵

2023年10月20～21日に広島市で第77回国立病院総合医学学会が行われました。福島病院からは口演発表2題、ポスター発表8題の計10題の発表をさせて頂きました。そのうち1題はベスト口演賞に選出されました。

私自身は「頸部・肩甲帯の筋緊張緩和によりむせが減少した症例～食べる楽しみを支援する～」という演題で発表させていただきました。患者様が楽しみとしている食事を安全に継続するためにリハビリで取り組んだ内容を報告してきました。初めての発表であったため抄録やポスターを作成に苦労しましたが、改めて患者様のことを考え、自身の介入について見つめなおす良い機会となりました。発表は緊張もありましたが、終了後はとても達成感がありました。また発表を通して他病院の方々から質問をいただき、意見交換できたことは考えを深めるきっかけになりました。

国立総合医学学会は様々な職種が参加する学会であり、作業療法士以外に看護師や児童指導員、栄養士等他職種の研究や症例報告を拝見することもできました。多方面から物事を考えられたり、刺激を受けられるものがたくさんあり、良い医療を提供できるよう日々精進していき

たいと思いました。

今回の国立総合医学学会に参加し、様々な経験をすることができました。このような機会をいただけたこと、また参加するにあたり協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。



本号のご案内

- 第77回国立病院総合医学学会に参加して 1
- 療育だより 祝！成人！ 3
- 看護部だより 院内教育について 2
- 健康プラザ 機能性下着とMRIについて 3
- 親子遠足 2
- 外来担当医表 4

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

●新規採用者6か月研修

入職してから約半年は、職場の環境に少しずつ慣れてきた一方で、夜勤の始まりや仕事の幅が広がっていきなから、責任感の高まりを自覚する時期です。

看護部・療育指導部・事務部の8名は、研修を通して考え、互いの価値観に触れながら、自分自身や仕事について振り返り、自分が目指す職業像、そこに向かって後期どのように取り組んでいくか考える時間と、病院から離れ、翠ヶ丘公園の散歩や市内の散策を行いました。研修生からは「セルフコーチングシートを記入しながら自分自身について振り返り、将来のことについても考える時間を持つことができた」「自分について振り返ることができ、久しぶりに同期のみんなで集まれてたくさん話せて良かった」と前向きな声が聞かれました。



●オンライン教育ツールの導入について

当院では、今年度より院内教育にオンライン教育ツール（ナーシングスキル）を導入しました。

従来の集合研修に加えて、いつでもどこでも学習できる環境を整備し、職員の知識や技術のアップデートにより、質の高い医療の提供を目指します。職員は、自分のニーズに合わせて、時間や場所を選ばずに学習することができます。本システムの導入により、職員一人ひとりのスキルアップを促進し、患者さんへのより良い医療の提供に努めてまいります。

親子遠足

たんぽぽ保育園 保育士 古川 麻子

今年はお子さまたちが大好きな昆虫がいるムシテックワールドに行ってきました。普段からトンボや蝶を見かけると「網と虫ご取ってくる！」と友だちと虫捕りを楽しんでいます。「ムシテックワールドには何がいるの？」と行く前から興味津々で、カブトムシや蛇が居ることを知ると「早く行きたいね」とみんなで話していました。当日は、親子でサイエンスショーやキーホルダー

作りに参加し、カブトムシや蛇にも触ることが出来ました。蛇が怖くないお子さまは蛇を首に乗せ、「怖くないよ！平気！」と満足そうにしていました。なぜだろうランドでは自由に友だちや親子で走りながら沢山アトラクションを回り、良い思い出が出来た親子遠足になりました。



去る10月4日に成人を祝う会が行われ、男女2名の患者様が新しい門出をお迎えになりました。新型コロナウイルスも第5類となり、今年は療育棟にて盛大に式を開催し、お2人のお召し物は数ヵ月前よりご家族と相談し、スタイリッシュなスーツと綺麗な刺繍の着物をご準備していただきました。数週間前より式があることを患者様に伝えていましたが、いざ式を迎えるとなると緊張の色が隠せません。普段よりも発声が少なかったり、表情が硬かったりと、開始までの時間にドキドキの時間を過ごしていたようです。式の中で杉浦病院長からのお祝いの言葉が送られると表情が引き締まり、20歳の節目と言う日を噛みしめているようでした。

ご家族から謝辞の中で「障害を受け入れるようになってからはどうか毎日楽しく明るく生きていきたいと過ごしてきました」とおっしゃる場面があり、言葉の通り幼少期からずっと溢れんばかりの笑顔が写真に残されていました。

また、患者様の着物姿をじっくりと見つめた後に「着

物姿、とても綺麗だよ」とたくさんの想いが込められた素敵な言葉のプレゼント送られ、様々な思いを胸にこの会を迎えていたようです。この数年間は、感染症の脅威を身近に感じながらの生活となっていました。そんな生活を力強く乗り越え、この日をお迎えになりました。このような生活を乗り越えたからこそ、一層の明るく輝かしい未来が待っているように感じます。20歳おめでとうございます。



これから本格的な寒い冬に入るこの時期にはなくてはならないヒートテックなどの機能性下着とMRI検査のお話です。

吸着発熱素材が使われた機能性下着は、素材に主にレーヨンとアクリルが含まれている衣類です。高い吸水性を持つレーヨンが肌から発せられる水蒸気を吸うことで発熱（吸着熱）しアクリルが持つ保温効果により、着ることで暖かさを感じる衣類です。ヒートテックはユニクロにおける商品名で、他にもピースフィット（イオン）、ヒートアシスト（ワークマン）、ジオライン（モンベル）など各メーカーで多くの商品があり、使われる素材の種類も比率もそれぞれ違いがあります。

MRI検査中は電磁波を照射された影響で体温上昇することがあります。体温の上昇により肌からの水蒸気が多くなったことで吸着熱がより発生し、通常より汗をかきやすい状態になります。さらに、機能性衣類の保温効果で衣類が湿った状態になりやすく、その湿った衣類に

誘導電流が発生し、火傷につながる恐れがあります。

このようなリスクを避け、より安全な検査のために、検査時は機能性下着の脱衣をお願いしています。寒い時期で着用しているので脱ぐ事に抵抗もあると思いますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和5年11月1日現在】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋			安田千尋
内科	2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内視鏡検査					安田千尋	
脳神経内科		伊藤英一	根本和夫	伊藤英一	根本和夫	杉浦嘉泰
小児科		福島医大	石井勉 氏家二郎 (第2・4)	石井勉		河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)			石井勉 氏家二郎 (第2・4)			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)				石井希代子		
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2)		
小児専門外来		予防接種 (午後)				
整形外科		古川浩三郎		古川浩三郎		古川浩三郎
小児外科					清水裕史	
脳神経外科			福島医大 (第2)			

- 完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。
- 受付時間は午前8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和5年11月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)
診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

11月22日は、いい夫婦の日。11月23日は、勤労感謝の日です。働いている人への感謝、農作物の収穫を感謝する日とされています。いつも頑張っている家族に心を込めて「いつもありがとう。」と労いの言葉を掛けたいと思います。普段、思っても中々伝えられていない方も感謝の気持ちや「ありがとう」を伝え、皆さんが笑顔で過ごせる一日になるといいですね。(M・M)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital
独立行政法人国立病院機構 福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>